



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 23日

豊 田 市 長 殿

提出者 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4
住所 大成建設株式会社 中部支店
氏名 常務執行役員支店長 鈴木 淳司
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-562-7558

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

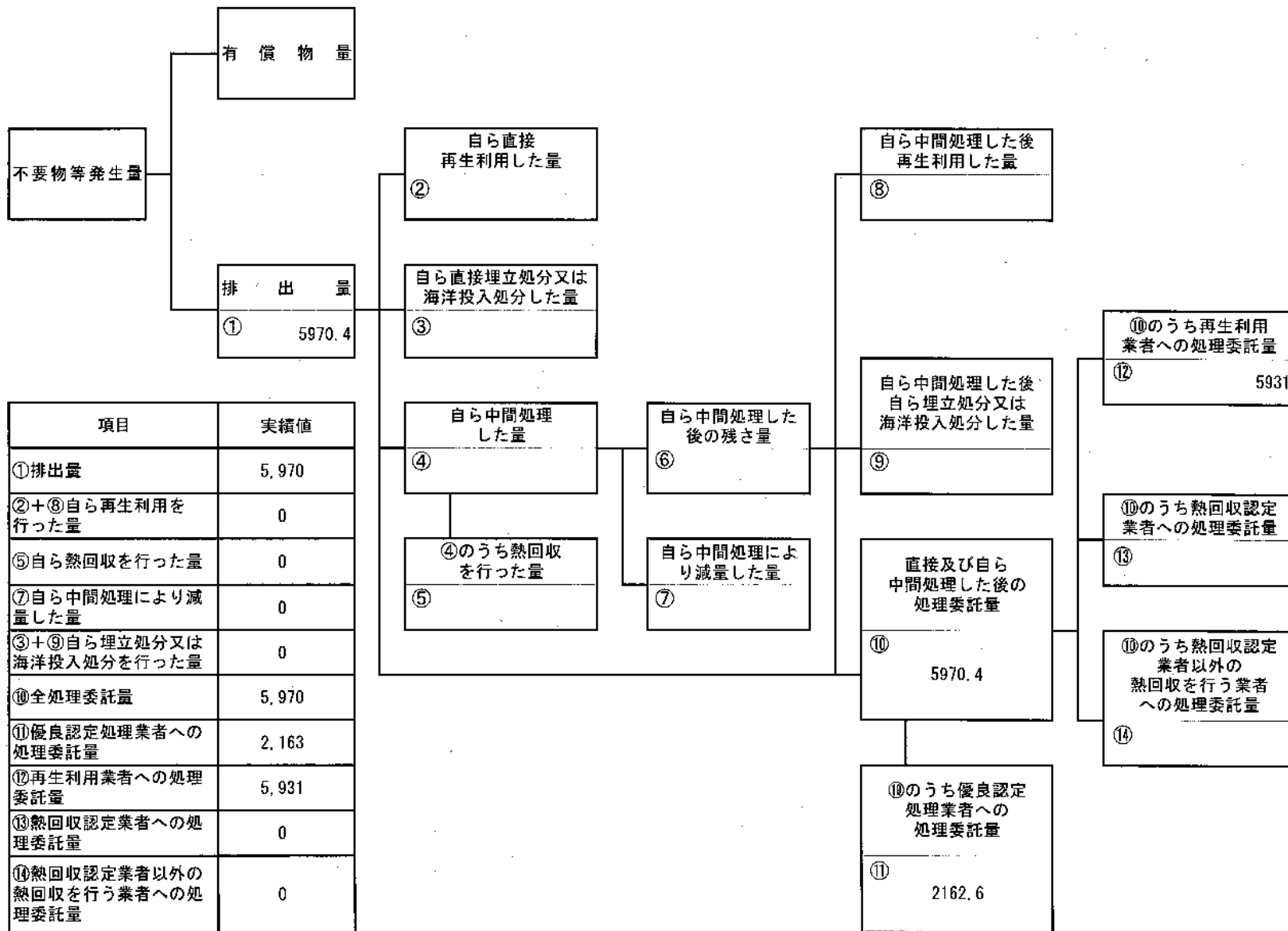
事業場の名称	大成建設株式会社 中部支店 (豊田市内 各現場)
事業場の所在地	愛知県豊田市若宮町2-13 ジブラルタ生命豊田ビル5F他 (豊田市内 各現場)
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	9991.8 t	全処理委託量	9991.8 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	915.2 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	9906.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

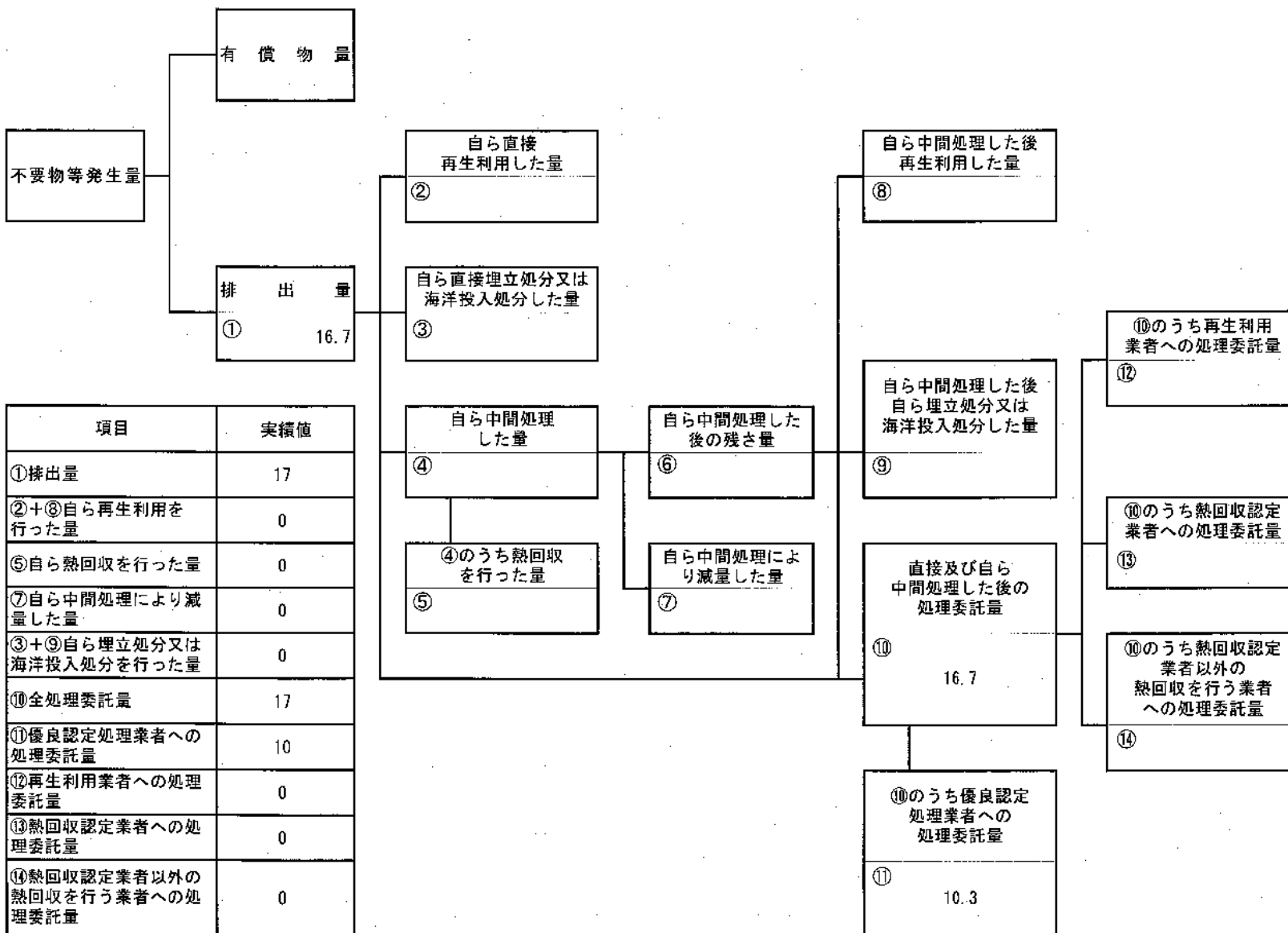
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)



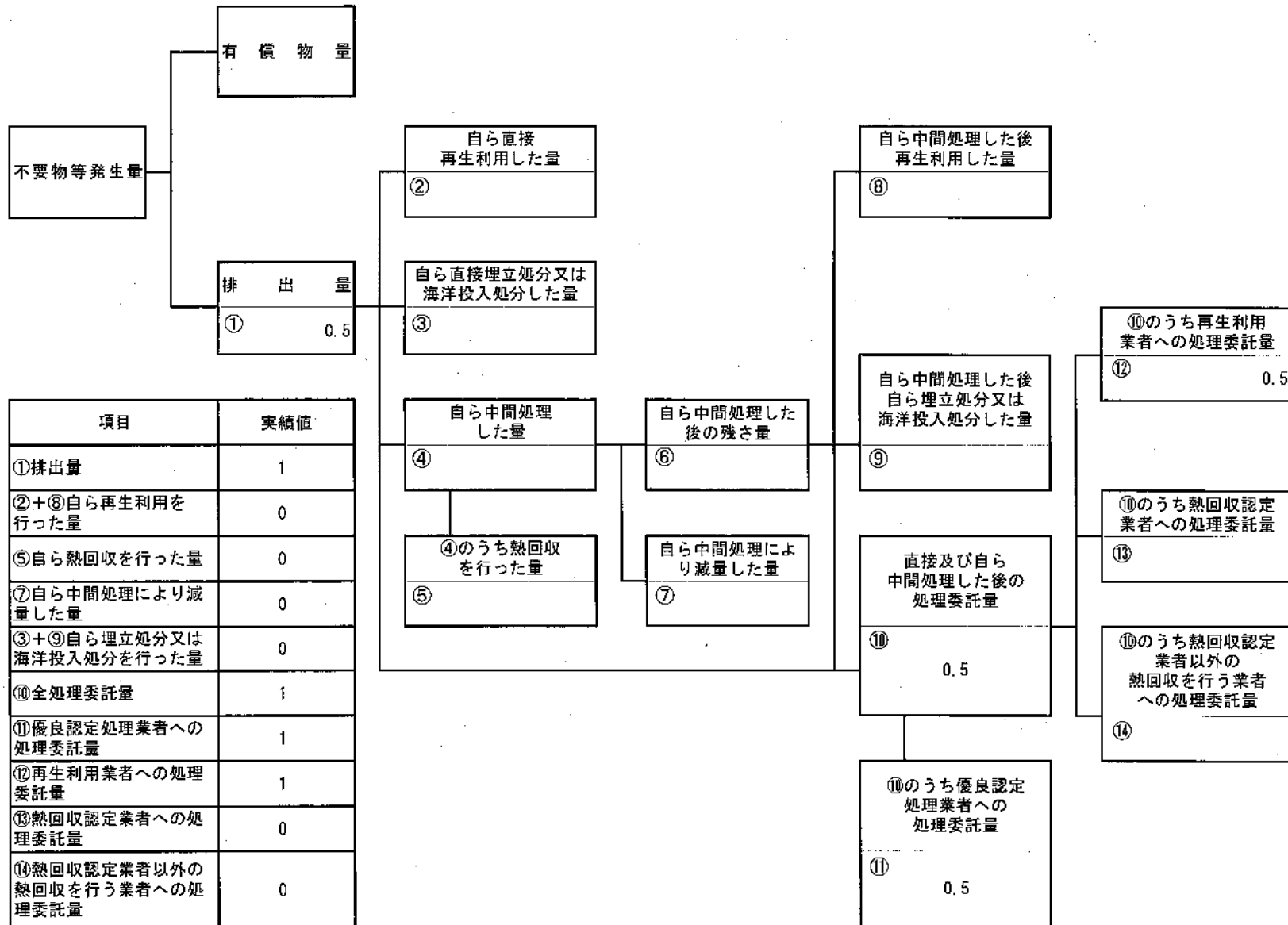
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



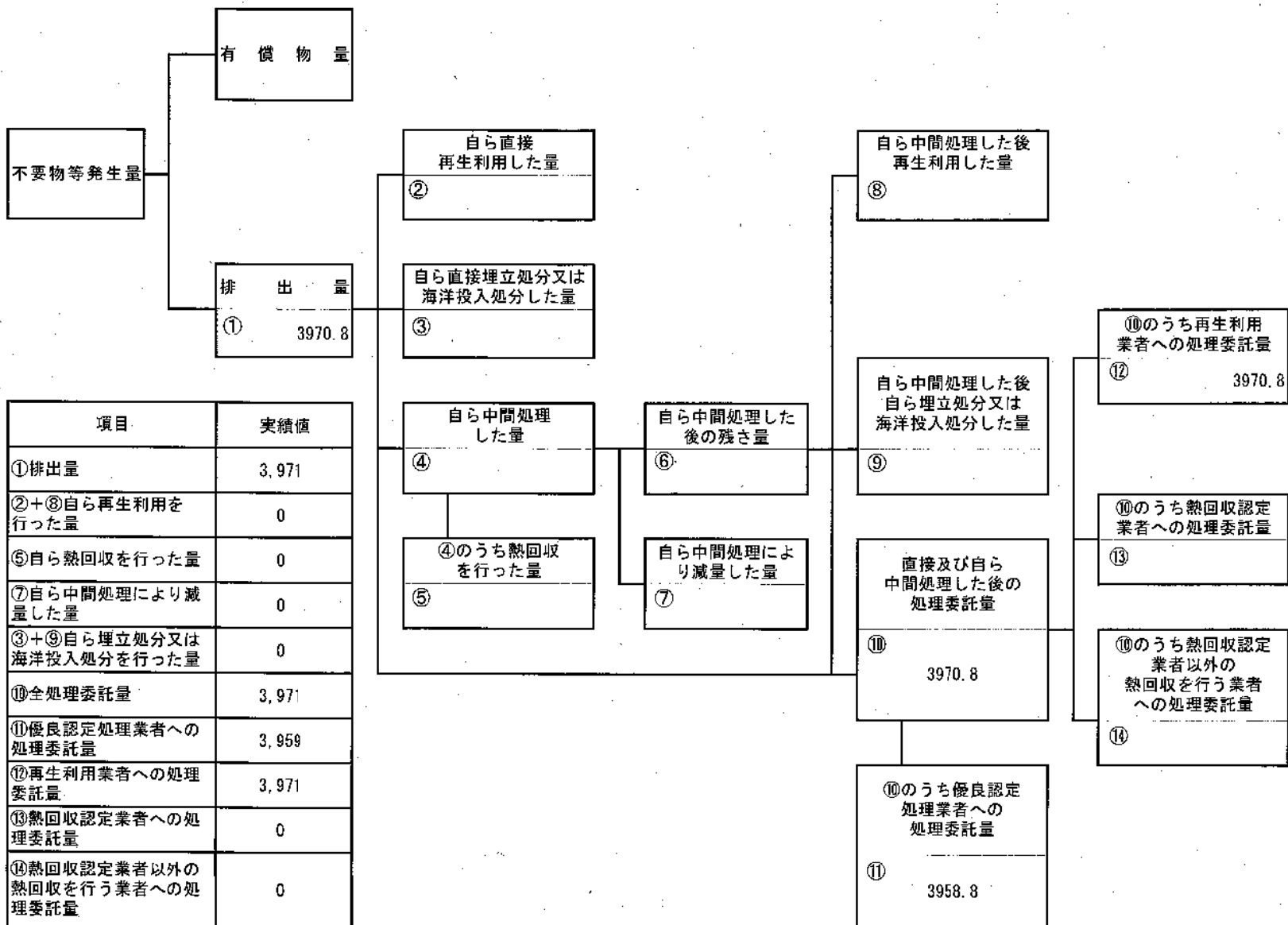
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



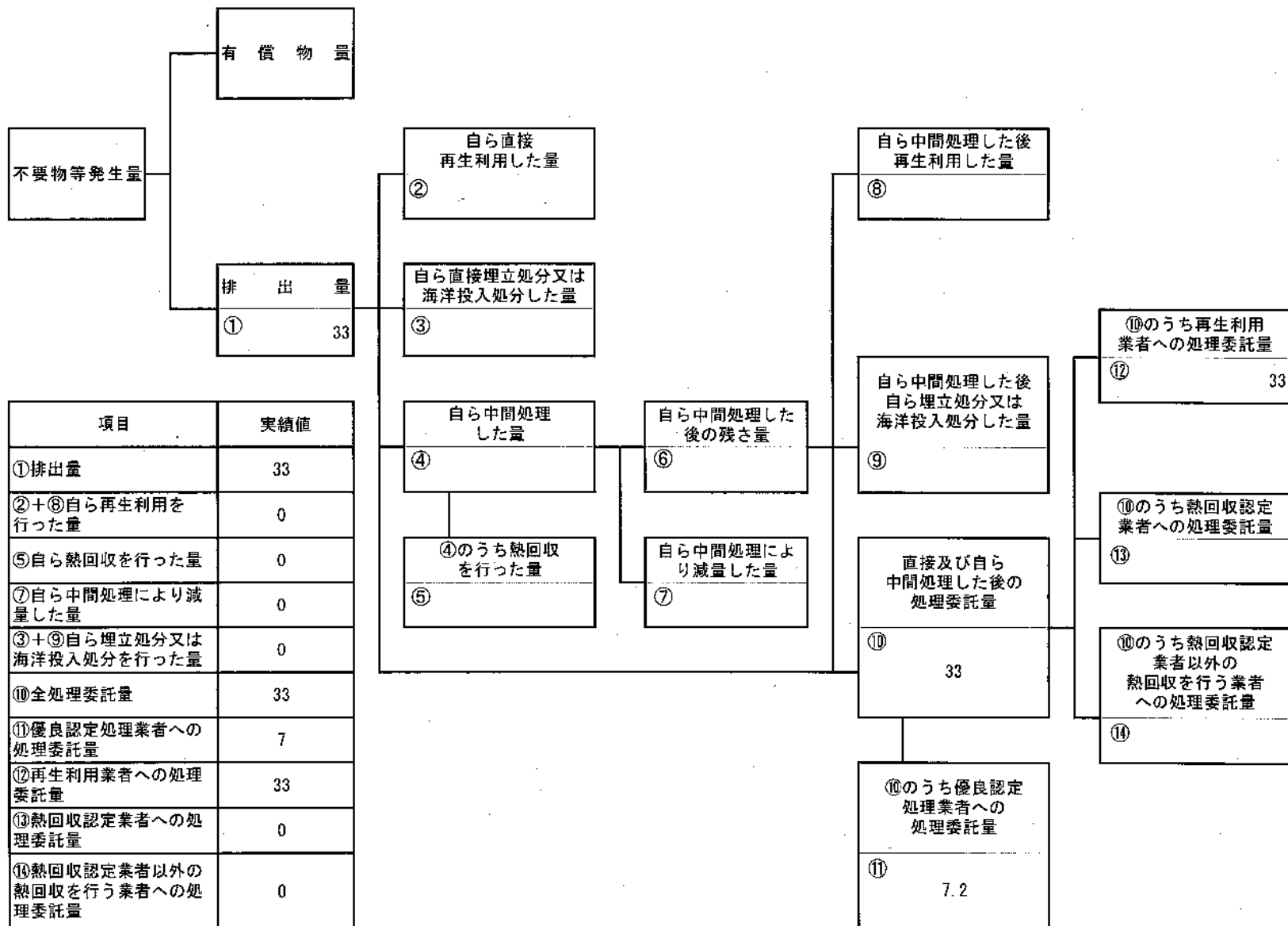
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)



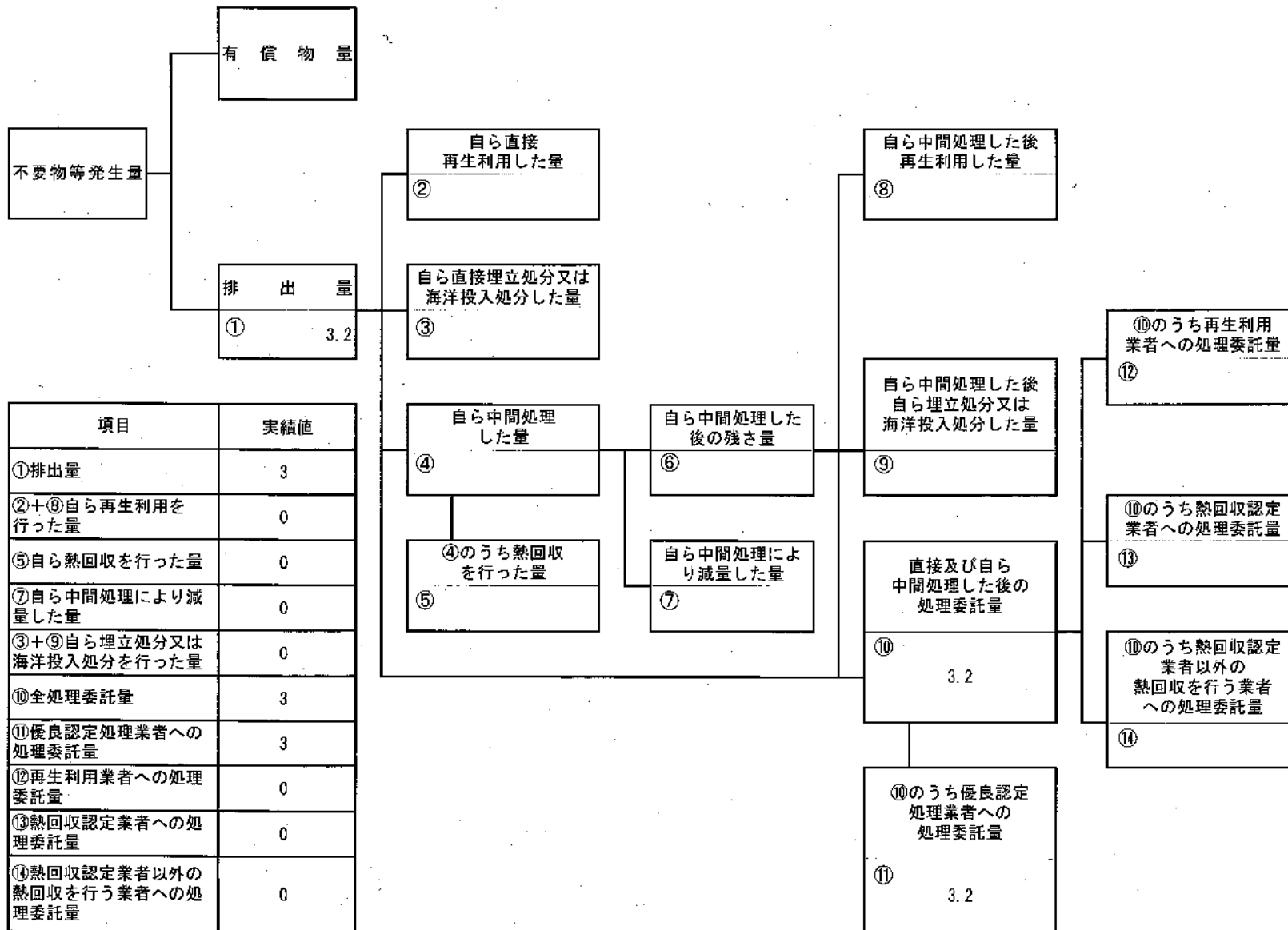
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



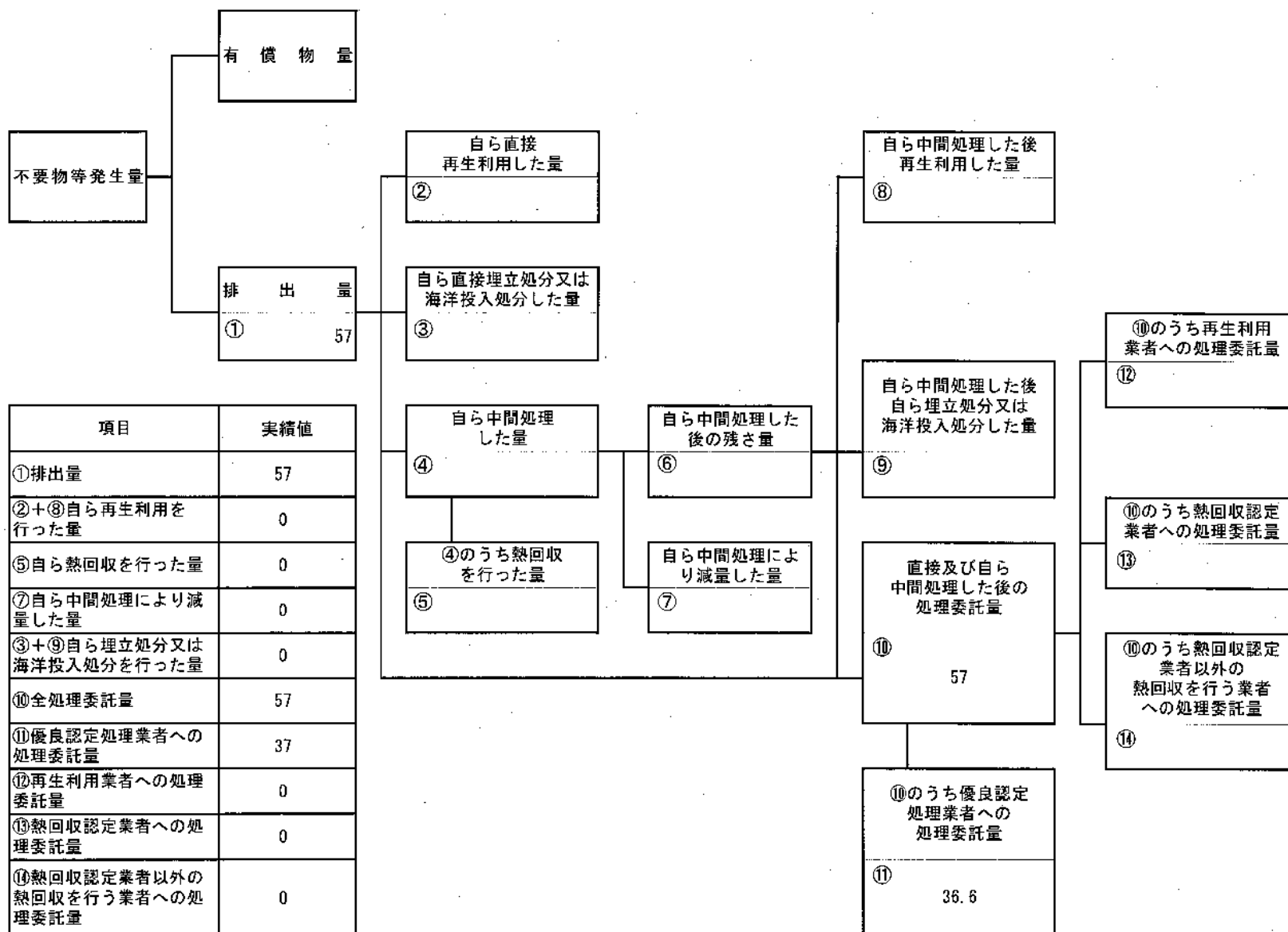
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物(安定型)(管理型含む))



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	大成建設株式会社 中部支店	従業員数 (人)	887人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全・環境部 船橋 綾	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	5,720,541 万円/年	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	052-562-7558	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	がれき類 コンクリート片	がれき類 アスコンがら	がれき類 その他がれき	廃プラスチック類	金属くず
前年度計画の実施状況 (年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	5,907	24	38	16	1
	b 有償物量 (t/年)					
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	5,907	24	38	16	1
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)					
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	5,907	24	38	16	1
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	5,907	24	38	16	1
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	5,907	24	38	16	1
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)			38	16	
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	5,907	24			1
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	5,907	24	0	0	1
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	38	16	0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	大成建設株式会社 中部支店	従業員数 (人)	887人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全・環境部 船橋 綾	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	5,720,541 万円/年	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	052-562-7558	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		汚泥	木くず	ガラス陶磁器くず	混合廃棄物	混合廃棄物
項目				珪石質ボード	安定型	管理型
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 、 年 度 実 績	a 不要物等発生量 (t/年)	3,971	33	3	5	52
	b 有償物量 (t/年)					
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	3,971	33	3	5	52
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)					
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
年 度 実 績	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	3,971	33	3	5	52
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	3,971	33	3	5	52
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	3,971	33	3	5	52
	処理方法	A・B・C・D E (分別)	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E (選別)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)			3	5	52
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	3,971	33			
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	3,971	33	0	0	0
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	3	5	52
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第二面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	大成建設株式会社 中部支店	従業員数 (人)	887人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全・環境部 船橋 綾	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	5,720,541 万円/年	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	052-562-7558	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	石綿含有廃棄物			
		がれき類	廃プラ		
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 ～ 年 度 実 績	a 不要物等発生量 (t/年)	1	1		
	b 有償物量 (t/年)				
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	1	1		
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)				
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)				
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0		
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)				
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)				
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0		
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	1	1		
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	1	1		
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	1	1		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・E 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)				
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)				
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)				
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0	0		
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0		
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	1	1		

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。